

茨城県五霞町様

メール、ファイル無害化の作業負担がゼロに
PPAP対策も万全に、業務効率が格段にアップ



無害化されたファイルがメール添付で届く
1通あたり5分要したメールの確認がゼロに

PPAP受信メール、パスワード入力
無害化されたファイルがメールで届く

セキュリティ対策は高度化しつつ
費用はオンプレミスに比べ4割減

PROFILE

茨城県五霞町様

五霞町は、関東平野のほぼ中央、茨城県の西南端に位置し、人口8,158人、3,384世帯(2022年11月現在)から成る。東は江戸川を隔てて千葉県に、南西は権現堂川および中川を隔てて埼玉県に、また北東部を流れる利根川をはさんで古河市・境町に接し、四方を河川に囲まれている。都心から50km圏域に位置する地勢を活かし、町内6ヶ所の工業団地ではキューピーやヤクルトなど企業60数社が活動している。

公式サイト
<https://www.town.goka.lg.jp/>

お客さまが導入した、CYBERMAIL Σ STとは

全国の自治体で導入実績豊富なメール無害化クラウドサービスのCYBERMAIL Σ ST (サイバーメール シグマ エスティー) は、受信メールを完全無害化できます。添付ファイルに含まれるマクロウイルスや意図しないプログラムを無害化します。

導入内容

メール無害化

原本保管・参照機能

ウイルス対策

PPAP受信対策

添付ファイル無害化

スパム対策

PPAP対策、メールとファイル無害化が手間なくでき、 原本メールを簡単に閲覧できることが導入の決め手

茨城県五霞町様は、2019年4月「いばらき情報セキュリティクラウド（以下、IBSC）」のメールとファイル無害化の運用を開始。無害化されたメールはLGWAN接続系PCに届くが、添付ファイルは削除されている。添付ファイルの確認には、仮想環境で検索する必要があり、メール1通の確認に約5分の時間を要し職員にとってはかなりの負担だった。2022年3月にCYBERMAIL Σ ST(サイバーメール・シグマ・エスティー)の導入により、メールに無害化されたファイルが添付された状態でLGWAN接続系PCに届くため、メールの確認が容易に。さらに、無害化前の原本メールはWebメールでいつでも確認でき、業務効率が大幅に向上した。

メールの添付ファイル無害化が業務負担に

添付ファイルは自動削除

LGWAN接続系PCに届くメールでは、添付ファイルが自動的に削除されて届く。添付ファイルを確認するためには、仮想環境でファイルを検索しなければならない。

ファイル無害化が負担

仮想環境で検索したファイルは無害化されていないため、手動でファイルは無害化した後にLGWAN接続系PCにダウンロードしていた。PPAPのパスワード解除と無害化も負担に。

本来の業務に支障

1通のメールのファイル確認に約5分かかるため、メールを確認すると他の業務ができない。仮想環境の同時アクセス数が限られており、他の職員の業務にも影響が出ていた。

CYBERMAIL Σ STの導入効果



メールの確認作業、5分がゼロに

無害化ファイルがメールに添付され、LGWAN接続系PCで受信できる。メール本文と添付ファイルの照合の手間がなくなり、これまでメール1通あたり約5分を要していた作業負担がなくなり、業務効率が大幅に向上した。



自動でファイル無害化。PPAP対策も実現

IBSCから転送されたメールをCYBERMAIL Σ ST上で原本保管した上で自動で無害化。パスワード付きZIPメールを受信しても、Web上でパスワードを入力すると、ファイルが無害化されてLGWAN接続系PCに自動的に届く。



本来の業務に集中できる

小規模自治体は、少人数で多くの業務を兼務しており、それに付随して確認するメールの数も多くなる。メールの確認の負担が軽減されたことで、本来業務に集中できる環境が整った。

茨城県五霞町様 CYBERMAIL Σ ST 選定のポイントと理由

選定のポイント

メールとファイルが
自動で無害化されるか？

PPAP受信対策ができるか？

予算内で導入、運用可能か？

>

>

>

選定の理由

メールとファイルを無害化後、
LGWAN接続系PCへ自動転送

パスワードを解除すると
無害化したファイルがメールで届く

クラウドで導入
オンプレミスに比べ費用は約4割減

お客様インタビュー

メール確認の負担をゼロに 小規模自治体こそDXを

五霞町役場
まちづくり戦略課広報戦略グループ
主幹 **矢島 征幸** 様



メールでのやり取りが日常的に行われている中で、メールと添付ファイルの確認に時間がかかるというのは職員全員にとって大きな負担でした。特に五霞町役場のような少人数で業務を分担している小規模自治体では、1人当たりの受信メール数が多いです。また、複数のファイルが添付されているメールも多数あります。そのような状況で、1通のメールと添付ファイルを確認するのに5分かかっていたのが、CYBERMAIL Σ ST 導入以降は添付ファイルも含めて自動で無害化されLGWAN 接続系PCで受信が可能に。本来の業務に集中することができ、非常に助かっています。小規模自治体こそメールとファイル無害化はDX化に取り組む上で不可欠な対策です。



五霞町役場
まちづくり戦略課広報戦略グループ
主事 **松田 直人** 様

毎回の会議議題が解消 「元に戻れないですね」

メールの作業負担は、情報化の会議の度に議題に上がる課題でした。従来メールを確認するために、まず仮想環境へのログインが必要でした。しかし、仮想環境への同時接続数は、予算の都合により130人の職員に対して50でした。職員同士で融通し合いながら運用をしていましたが、同時接続ライセンスに空きがないと利用できないため、誰が長時間ログインしているか茨城県に問い合わせることもありました。今ではそうした課題が全て解決され、作業効率が大幅に上がりました。もう元には戻れないですね。

茨城県五霞町様 CYBERMAIL Σ STのご利用について



総務省の要請により、自治体のシステムは、都道府県単位でインターネット接続ルートを集約と「三層分離」によるセキュリティ対策により、マルウェア感染の被害報告数は減少。その一方で、自治体職員の日常業務での運用課題が明らかになりました。五霞町様をはじめ、自治体様におけるメール無害化の仕組みとCYBERMAIL Σ STによる解決について紹介します。

自治体のセキュリティ課題	五霞町様での課題	CYBERMAIL Σ ST 解決
メールを無害化 添付ファイルは自動削除	添付ファイルが自動で無害化されない 無害化しないとLGWAN接続系に持ち込めない 仮想環境でファイル参照システムにアクセスし、無害化してLGWAN接続系にダウンロード 仮想環境にアクセスしての処理	メールを無害化とファイルを無害化を自動処理 無害化したファイルをメールに添付して送信する ファイル無害化は選択可能 ZIP暗号化ファイルをに対応
メールが改竄される ・HTMLメールはテキスト化 ・添付ファイル削除 ・リンク無効化	仮想環境にアクセスして原本メールを確認 リンク先にアクセスできない Web会議などのリンク先の入手	原本メール保管(メールサーバ)と原本メール参照(WEBメール)を標準装備している 職員毎に自分の原本メールを確認できる
導入・運用費用が高い	1件のメール処理に5分 オンプレミス運用はコスト面から負担に 仮想ブラウザの同時接続数を絞っていた	メール処理時間がゼロに 自治体セキュリティクラウド連携したクラウド導入 セキュリティ認証を取得 高いコストパフォーマンス

サイバーソリューションズ株式会社が取得している認証

サイバーソリューションズ株式会社は、お客様に当社クラウドサービスを安心してご利用いただくために、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国内規格「JIS Q 27001 : 2014」および「ISO/IEC 27001:2013」に加え、クラウドセキュリティの国際規格である「ISO/IEC 27017:2015(以下、ISO/IEC 27017)」『ISO/IEC 27018:2014(以下、ISO/IEC 27018)』の認証を取得しています。



サイバーソリューションズ株式会社

〒108-0073 東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル14F
TEL : 03-6809-5858 WEB <https://www.cybersolutions.co.jp/>